

福祉・医療、教育・子育て、雇用・営業、農業・・・

深まる「いのちとくらし」の困難を打開するために

日本共産党池田支部

町政要求

のアンケートを実施

池田支部は、これらの要求を政策要求としてまとめたうえで、皆さんとともに町との交渉を行

います。また県への要求については党県議団とも連携し、対県交渉の場で実現をもとめていくことにしています。

公約違反が相次ぐ民主党政権のもとで暮らしや福祉・医療、雇用と営業をめぐる困難がいつそう深まってきたいます。また、農業従事者にとっては、米の生産費にはるかに及ばない米価の問題も深刻さを増しており、輸出関連の中小企業も円高のあおりを受けて危機的な状況がひろがっています。こうしたなか、共産党池田支部は町民の皆さんのさまざまな要求を聞き、実現の運動に結びつけるためにアンケートのとりくみをすすめています。

います。また県への要求については党県議団とも連携し、対県交渉の場で実現をもとめていくことにしています。

県知事選

松本たけしさん、善戦及ばず

松本 たけし

あべ 守一

こしはら 愛正

189,793票

362,903票

357,882票

8月9日投票で行われた長野県知事選挙で、「明るい県政をつくる県民の会」が支持した松本たけしさんは、18万9793票を獲得しましたが及びませんでした。

浅川ダム建設など大型開発中心の県政を許すのかどうか、雇用やくらしを優先させる県政を実現するのかどうかをめぐる、

県知事選

松本たけしさん、善戦及ばず

松本 たけし

あべ 守一

こしはら 愛正

189,793票

362,903票

357,882票

8月9日投票で行われた長野県知事選挙で、「明るい県政をつくる県民の会」が支持した松本たけしさんは、18万9793票を獲得しましたが及びませんでした。

浅川ダム建設など大型開発中心の県政を許すのかどうか、雇用やくらしを優先させる県政を実現するのかどうかをめぐる、



アクセサリーというといは女性のおしゃれを連想します。しかし、日本語に直して装身具といえ、原始人の鼻飾りからローマ法王の首飾りまで、男性専用のネクタイから女性のかんざし、さらにハンドバックにいたるまで、その生活用品としての範囲は広い。

川田さんの手がけるアクセサ

第7回

手づくりアクセサリー・小物

連載

池田の工芸家

工房を訪ねて

川田輝美さん（林中）

リーは、ネックレス、ストラップ、指輪、ブレスレット、それにビーズアクセサリーや置物など広範囲にわたっています。

優美さと輝きを求めて

林中にあるご自宅を訪ねて玄關横の和室に通されると、そこが工房になっていました。大きな座卓が真ん中にあつて、ガラス玉やビーズや工具が所狭しと並んでいました。

川田さんはここにドツカと座つて、小さな穴に糸を通したり組んだり、編んだり曲げたりと試行錯誤をしながら、ヤットコやレース針などを使って美しく輝く作品を作り上げてゆくのです。

材料は天然石、スワロフスキーテグスなどです。スワロフスキーとは特殊なアクリル系のガラス製品のことです。開発会社の

名前に由来しています。またテグスはナイロン系のワイヤーの呼称です。

創作好きの趣味が、アクセサリーの仕事へと結実

川田さんがこの仕事を始めたきっかけは、ご主人と結婚されたときに、義母から頂いた赤いビーズのほつれを、自力で分解して作り直したときの楽しさがきっかけだということ。もともと和裁洋裁手芸がとても好きだったその創作魂に火が



つきました。

その後、作品を友達にあげたりしているうちに、結婚式の花嫁さんのネックレスやイヤリングを注文されたり、ブチツクの飾りを頼まれたりして、とうとう自分の仕事になってしまったのです。

新しい色や形のパーツが次々に開発され、それに伴う技術が日進月歩しているので、先輩に教わった新製品の買入れのときに情報を仕入れたりと、日々勉強が欠かせません。

立体の組み立てや、息子さんからリクエストされているイナゴライダーのようなマスコットものなど、次から次へと作ってみたいものが湧いてくると楽しそうに話してくださいました。

作品によっては数ヶ月かけて作るものもあるとのこと

11月のクラフト展に出品

川田さんはアクセサリーの



認定講師の免許も取り、池田町創造館でこれまで2回講習会を開催、沢山の生徒さんとストラップとブレスレット作りを楽しみました。また、去年、豊科で展示会を開催し好評をえました。

朝は家族を送り出してから1時間半位の仕事に向かい、午後2〜3時間、肩こり・頭痛になりながらも作品づくりに意欲を燃やしています。

（文責 服部 守正）

コラム

有明

▼今年は日米安保条約改定50周年と、大逆事件と朝鮮併合100周年の節目にあたる▼1910年5月、松本警察署は現安曇野市明科の製材所を急襲し、宮下大吉ら5人を爆発物取締罰則違反で逮捕。宮下が爆弾を製造し天皇の暗殺を企てたとの理由だ。これが世にいう「大逆事件」の発端。宮下らの供述で幸徳秋水、菅野スガら計26人の逮捕に発展した▼大審院検事局は「1人の無政府主義者無きまで、その撲滅を期する」と声明。事件発覚の翌年1月、24人に死刑判決、大審院の裁判は19日間、死刑執行はその6日後だった▼事件の背景は次号でとりあげるが、その前にこれとの関連で「朝鮮併合に至る経過を見ておこう・・・明治政府成立後、西郷隆盛らが征韓論を唱え、中国への侵略をもくろむ日本は、朝鮮を侵略の前線基地・食料補給地にと朝鮮を挑発（江華島事件）し不平等な日朝修好条約を締結（1875）。日本の支援を得た朝鮮開化派がクーデター（甲申政変1894）▼日本の三浦公使、朝鮮皇后閔妃を殺害（1895）。米英仏露のアジア進出と交換に日本の朝鮮侵略を認めよと米英などと交渉（1905）。併合反対の朝鮮世論高まり、安重根、伊藤博文を射殺（1909）。翌年8月22日、「韓国併合に関する日韓条約」を調印し、朝鮮を日本の植民地とした。